

Keyword：消費者還元制度

このたびの台風 19 号により被災された皆様にお見舞い申しあげるとともに、犠牲になられた方々とご遺族の皆様に対し深くお悔やみを申しあげます。本誌の昨年 8 月号で掲載させていただきました「**重ねるハザードマップ**」を記憶されている方もいらっしゃると思いますが、今回の河川の氾濫によって浸水被害に遭われた川崎市高津区の住宅街や武蔵小杉駅周辺、世田谷区玉川周辺などは、肉肉にもハザードマップで想定されていた通りの結果となりました。今一度、皆さんがお住まいの地域について、普段からどんな危険性があるのかを確認しておくようにしましょう。

さて、今月は先月に引き続き、ちょっとお金の纏わる話題を続けます。以前に本誌の社長のコラム欄にも掲載されたことがありますが、キャッシュレス化の話題です。皆さんもご承知のとおり、「**消費者還元制度**」は消費税率引き上げに伴う需要平準化対策とキャッシュレス対応による生産性向上や消費者の利便性向上の観点で、2019年10月1日(火)～2020年6月30日(火)までの9ヵ月間限定で実施されている国の政策です。本制度に登録されたお店(図1)で、対象のキャッシュレス手段(クレジットカード等)で買い物をする、中小企業・小規模事業者が運営する店舗においては、カード利用金額の5%、コンビニなどのフランチャイズチェーン店舗においては、カード利用金額の2%が還元されます(図2)。勿論、EC サイトも対象です。また当然、それを取り扱う店側にも還元があるわけで、中小企業・小規模事業者であれば、通常のカード決済時に引かれる手数料料(カードの種類にもよりますが、凡そ3.5%前後)が、実質 2.16%になり、1%以上手数料が安く済むという利点があります。経済産業省は、中小・小規模事業者によるキャッシュレス手段を使ったポイント還元を支援する事業としていますが、ただ実際は小規模事業者としては現金決済の方が望ましいわけですから、手数料が掛かる以上は、積極的にキャッシュレスを勧めるという流れにはなり難いですね。お客さんにカードを使われてしまった時に、少しは手数料がかからないで済むか…というくらいでしょう。とはいえ、我々客側としては、クレジットカードや交通系電子マネー等を利用すれば、2～5%相当の還元があるわけですから、先月掲載した銀行の普通預金の金利の2,000～5,000倍ものお金(ポイント)が戻ってくると考えれば、とてもお話しがすよね(使うのと、貯めるのでは意味合いが違いますが…)。消費者還元は、国の補助金で各カード会社等から我々に還元されるもので、加盟店の負担ではありません。ということで、経済産業省から発表されている資料を基に「消費者還元制度」について、少し理解を深めるための解説しておきましょう。対象となる店舗は、先ほどの赤いマークが表示されています。使えるキャッシュレス決済手段としては、図3のものが対象です。知られているほぼ全てのキャッシュレス手段(クレジットカード、デビットカード、電子マネー、プリペイド、QRコードなど)が適用されます。そして還元されるポイントは、原則として税込価格に対してカウントされますので、例えば 10,000 円の商品を購入した場合は、消費税 1,000 円が加算された 11,000 円に対して、2%もしくは 5%分のポイントである 220 円もしくは 550 円分のポイントが還元されます。クレジットカードや交通系の電子マネーは、殆どの方がお使いだと思いますが、もう一つの括りのQRコードのキャッシュレス手段を使ったことのない方は、これを機会に試してみたいかがでしょうか。デビューするなら、「楽天ペイ」「PayPay」「LINE Pay」のいずれかでしょう。利用率は、今のところ楽天ペイが1位(9.4%)で、2位が PayPay(8.1%)、3位が LINE Pay(7.9%)の順となっていますが、PayPayは、100億円キャンペーンなどによって急速に認知度を高めたスマホ決済サービスで、様々なキャンペーンを展開していることから、近い将来1位になるのではないかと考えます。この日本では、まだあまり普及していない QR コード決済ですが、中国では都心部などでは約 90% が使用している超メジャーな決済手段となっています。中国で QR コード決済と言えば、Alipay(アリペイ)や WeChat pay(ウィーチャットペイ)です。特に Alipay に至っては、ユーザー人口が8億人を超えています。PayPayが使える店舗では、Alipayも使えることから、来年のオリンピッククイヤーに向けて、Alipayユーザーの取込を期待する店舗が PayPayを積極的に導入し始めていることで、益々 PayPayの普及率が高まりそうです。これには、初期導入費、決済システム利用手数料、入金手数料が無料という金銭的面で大きな負担がなく QR コード決済を導入できること、来年のオリンピックの終わった後の10月まで、Alipayの決済手数料が0%というのも後押ししています。筆者も Yahoo アカウントに PayPayを連携して使用していますが、特に問題はなく便利に使えています。

まだ消費者還元制度を利用したことのない方は、来年6月までの特典ですので、利用されてみてはいかがでしょう。使える店舗も沢山ありますし、専用の「ポイント還元対象店舗検索アプリ」(図4)をダウンロードして使えば、近くの店舗を簡単に探せます。

T O M O K O ' S R E C O M M E N D

ご意見・ご感想は adtain@adproject.co.jp まで メールでお寄せください。
 発行：株式会社エーディープロジェクト 〒151-0053 東京都渋谷区代々木 2-27-4
www.adproject.co.jp

↑上のスペースを外部的にも開放致します。是非、寄稿をお願い致します。詳しくは、こちらまで→<http://adtain.tokyo/contribution/>

皆様の いいね！をお待ちしております。
 facebook adproject 検索
 もしくは、<https://www.facebook.com/adproject.japan>

2019 vol.090 11 Legend

想像力は思いやりの力 その2



ゼネラルプロデューサー 榎垣 俊幸

高齢者事故は本当に多いのか？
 前回は、あおり運転など、自身にも危険が及ぶ無謀なことを何故するのか？ 防止するためには想像力を豊かにするほかないという内容の話をしました。今回もその続きですが、特に高齢者による自動車事故の報道が絶えないので、そのことに触れたいと思います。

自動車運転中に事故を起こすことは、言ってみれば「ありがちな事」です。苦手な車庫入れや、幅寄せなどで車を擦ったりということは多くのドライバーが経験しているでしょう。そういうことも事故のうちですが、人身事故などは、こちらが注意していても予想外の急な飛び出しで思わぬ事態になることもあります。多くのドライバーは、事故を起こさぬよう細心の注意をしながら運転しているのが普通です。そのはずであるのに、何でブレーキとアクセルを踏み間違えたりするのでしょうか？ 「高齢者だからボケてうっかりするのだ」と思うでしょうが、踏み間違いによる事故は若者にも多いそうです。そうだとすると、年齢に起因するものではないわけですから、他に原因があるはずですよ。

池袋で、車を暴走させて通行人を次々とはね、一部の人たちから“上級国民”と呼ばれ非難されている 87 歳の高齢ドライバーは、やっと書類送検された今も「自動車の構造上の問題だ」というようなことを言っているそうです。この人が言っているのはアクセルが戻らなかったということですが、多分ブレーキとアクセルの踏み間違えだろうと推測されています。しかし、ブレーキとアクセルの踏み間違いが多く起こるのであれば、そこが問題なわけで、ブレーキの隣にアクセルがあるからいけないのです。そして、ここでこそ「想像力」の出番です。



モデル：LIZA G / Height:176.5cm B:76 W:60 H:89
 事務所：ARTRICK ENTERTAINMENT (アートリック) <http://artrick.com>

adtainとは、adproject と entertain が融合した「おもてなし」のトピックス誌

想像してみましよう。例えば、足が不自由な人が運転する車が手動式であるように、別な操作にするとか、ほかに方法がないか想像してみるのです。確かに色々考えて現在のよう操作になっているのですが、それで事故が起きるのなら、考えてもいいのではないのでしょうか。想像によるくだらない思いつきから人類の危機を救うモノが生まれる可能性だってあるのですから。でも、自動運転社会がすぐそこまで来てるので、やはり、それまで我慢したほうが早いかもしれません。

自動車事故を減らすためには？

交通事故を減らす対策として、英国では自動車の走行速度を 20 マイル (約 32km/h) に規制する 20 マイルゾーンを導入しているといえます。制限速度地帯は日本にだってありますが、英国では、その場所に監視カメラを設置して遵守を促しているといえます。日本でも高速道路ではオービス以外にも監視カメラが設置されているようですが、一般道では交通違反車の監視に特化したカメラはそれほど設置されていないのではないのでしょうか。

ドラレコ搭載が常識化している昨今、これからは防犯のみならず、交通違反取り締まりのカメラもそこら中に設置され、歩いていても自動車を運転していても四六時中監視される社会になりつつあるのです。防犯と安全の引き換えにプライバシーを犠牲にせざるをえないということに納得しかねるのは私だけでしょうか？

それはともかく、前述のような速度制限の道路や監視カメラによって違反者の取り締まりはできるものの、交通事故を起こす人の心理を計り知ることはできません。多くの事故は、偶発的なものかもしれませんが、あおり運転や高齢者の暴走運転は、その人格に起因していると思います。高齢者でも自覚を持っている方は大勢います。池袋の“上級国民”は足が悪く、周囲からも注意されていたとも言われており、他的高齢者による交通事故でも持病に“てんかん”のある人だっったりという話を聞くと、やはり人間性の問題であり、高齢者だから事故を起こすと一概に決め付けられることではないように思います。確かに年をとれば物忘れも多くなりますが、これも人それぞれで、90 歳を過ぎてでも矍鑠(かくしゃく)として、アホな若者より頭の回転が早い方もいますからね。

高齢者に関わらず、自分を客観的に見て「運転したら事故を起こすかもしれない」「人に迷惑をかけてはいけない」という「思いやりの想像力」を持っていれば、幼い子どもと、その若い母親の命は失われずに済んだのにと、思うとやり切れません。



秋葉 悠介

- Event：東京モーターショー 2019
- Date：2019年10月23日(水)～11月4日(月・祝日)
- Place：国際展示場(東京ビッグサイト)

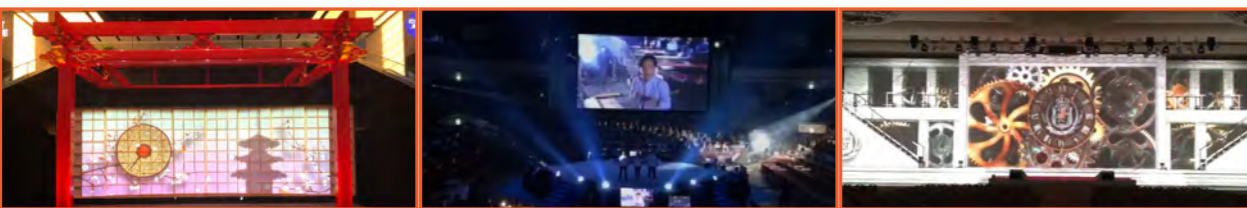
今年も残りわずか、来年には東京 2020 オリンピック・パラリンピックが開催され競技大会混雑時の働き方対応について気になります。先日、銀座で食事する機会があり、その店のシェフが言うには、東京 2020 オリンピック・パラリンピックの時期は、豊洲周辺が人でごった返して仕入れや交通が混雑しそうで不安の色が隠せないそう。自宅から会社まで自転車通勤で自宅作業で対応できる自分には、関係のない話かと聞いていましたが、企業のお偉い方々が通うその店のシェフが言うには、競技大会が始まれば期間中長期休暇にする企業もあるとか。そうならば本사가休んでもコールセンターなどは大混雑になる可能性があります。簡単な話、役職者が長期休暇でハンコを貰えず止まってしまう仕事も増えるかもしれない。少なくとも自社には起こりえない事だろうが、クライアント企業でそんなことが起これば仕事が滞ることは間違いないのでクライアント企業の競技大会に向けた働き方についても気になるところです。企業の対策の前にマラソン移転問題で『都民ファースト』ならぬ『サッポロ一番』になってしまった政府の対策にも注目したいですね。さて、余談が過ぎましたが、今年も二年に一度の東京モーターショーJAFブースを担当させていただきました。JAFといったロードサービスの会社イメージが強いですが、"だけじゃないんです!" JAFは日本におけるモータースポーツライセンス発給から規則の制定など多岐にわたる業務に携わっています。eモータースポーツで沸く昨今、今回のブースはモータースポーツに特化したブースをご提案させていただきました。ブースでは『JAF 認定 デジタルモータースポーツグランプリ』を実施、プロレーサーも練習に使用するレーシングシミュレーターを使って多くの来場者にデジタルモータースポーツを体験していただきました。おかげさまで会期を通して開場から閉場まで常に待機列がでか大盛況。今回は運転免許をお持ちでない方も小さなお子様でもご参加いただける内容で展開しましたが、本来はプロが戦うスポーツ競技、今後オリンピック競技として実施されるかも?と可能性しか感じないイベントになりました。



PRODUCER：須田 潤一

- There：My 印象ランキング

adtain をご覧のみなさま、こんにちは! 須田です。毎年、様々な仕事に携わる機会をいただき、毎回成長することができて感謝ばかりです! 今回は、今年担当させていただいた案件の中で、特に印象に残っているものをご紹介します。**第3位** 羽田 × 歴博 Think JAPAN ~日本の魅力を考える~です。これは、3年前から開催されているもので、以前も adtain で紹介しましたが、LED 機材を使用し映像演出で日本の魅力を紹介していく展示となっています。初年度は、LED 屏風。昨年は日本情景時計と名付けられた、障子に季節を感じさせる影絵風の映像を流し、時間になると仕掛けが作動して障子開きの中に LED で日本の春夏秋冬の風景が流れるというものでした。今年は第3弾として、日本情景行灯を展示。数棟の形の異なる大きな行灯を作成し、LED で造作して様々な日本情景を映像で流しました。**第2位**は、両国国技館での社員総会です。この両国国技館という場所で演出、進行を担当する機会はなかなか無いので、とても貴重な経験でした。両国国技館の特性を活かすため、四方にスクリーンを吊りこみ、センターステージで社員総会を実施しました。社員様によるプレゼンでも、四方の花道からの登場演出で臨場感溢れるものとなり、大変盛り上がりしました! 最後に**第1位**は、福岡のヒルトンシーフォークで実施した、某企業様のアワードです。こちらは総合演出を担当し、美術造作からステージ、ホワイエ演出、映像や進行演出を含めた全てにおいて統括させていただき、大変ご満足いただいた案件です。主だったところではまず、受賞者の方々の気持ちが高まるエンタランスの演出。そしてステージ造作は、2階からも登場できる特別構造のステージ! もはや、ステージというよりセットに近いです。その強大なステージに全面マッピングを含めた各所の映像演出。ここまでの規模を全面的に任せただけで、またそれをやり切れたことは大きな経験になりました。実際はここでは書ききれないやりとりや問題などもありました。そして今回お伝えした以外にも多くのお仕事をさせていただき、成長のチャンスを得ることができてありがたく思います。また来年も、自分の表現によって喜んでいただけたら、感動してもらえるような仕事ができればと思っています。残すところ僅かですが、何かあればぜひお声を掛けください! よろしくお祈りします!



羽田 × 歴博 Think JAPAN ~日本の魅力を考える~

社員総会 (両国国技館)

企業アワード (福岡・ヒルトンシーフォーク)

Project 1.



友人と遊びに行くと、視点の違いに気づかされる。



EXECUTIVE PRODUCER：松延 智明

クルマで出かけ、高速道路でハンパない渋滞にはまってしまったとき、運転をしていた友人は「何だよ、この渋滞!」と舌打ち。「オレたちも渋滞の原因 1 台だけだね」と言ってしまったわたしは、友人から別の怒りを買うことに。まあ、運転者からしたらイライラするのもわかります。「もう、この満員電車何のなの?」「ちょっと人が多すぎてイヤになっちゃう!」。結構、耳にします。あなたがそこにいるから、同じような方々が集まっているから、混雑を引き起こしているはずなのに。その一方で、「仕方がない」と思える方がほとんどだから秩序は保たれているんですね。あおり運転の話題などは、こんな心理が作用しているかもしれません。…さて! 友人との食事の話。わたしは、100円回転寿司のヘビーユーザーで、基本的には回っているお寿司を食べます。あるとき「何でみんなわざわざ注文をするんだらう?」と友人に聞きました。友人は「その話は気をつけたほうがいい。曰く「それは回らない寿司を食べられるヤツが言うこと」なのだそう。うなるわたし。わたしが回っているお皿を取るの、注文して肩すかしの様なネタが載っていたらさみしい気持ちになるからです(笑)。とは言い、友人の一言には深い意味を感じました。回らないお寿司が食べられる身分ではないのですが…。その後、議論は静かに白熱し、思いのほか長居をすることに。繁盛店の混雑時に、迷惑を考えなければいけない場面です。反省。ちなみに、みなさんはどう思われますか? 会話の内容が気になる方は、ぜひお誘いください、一献!



海上釣り堀 初チャレンジ!

PRESIDENT：檜垣 俊吾

鈴鹿と東京モーターショーの往復巡業の翌日、某クライアントと YouTuber 数人で海釣りならぬ、海上釣り堀へ初チャレンジ。普通なら沖釣りや磯釣りではしか釣れない大物(タイやワラサ、ブリ、カンパチ、ヒラマサ、シマアジ、インダイ、クエ、ヒラメ等)の季節の魚や高級魚が海上釣り堀で安全に手軽に釣れるというもの。とはいえ、船に乗ってしばらく揺られ、海上のイカダの上で釣りをするという…船酔いする私にとってはかなり緊張するコンディションでの一日。三浦海岸に7時集合し、海に浮かぶ釣り堀へ船で出発。船酔うよりも、とにかく眠い…。そして無事に釣り場に到着するとすぐに釣りがスタート。この釣り堀では、ワラサ・ブリ等の青物がかかったら、すぐに「青です!」と宣言し、周囲に絡まないよう、周囲の人は竿をしましてお約束がありましたが、私は1度も叫ばずに終了。ワラサ1匹と鯛5匹という個人戦績でしたが、今回一番の楽しみだった相模湾で釣った魚を近くの料理屋に持込んで食すこと。チーム全員の釣った魚から、ブリしゃぶ、ヒラメの刺身、鯛めしをリクエストしてプロに調理を依頼。これが間違いなく美味しい。連戦の疲れを取る素晴らしい1日でした。

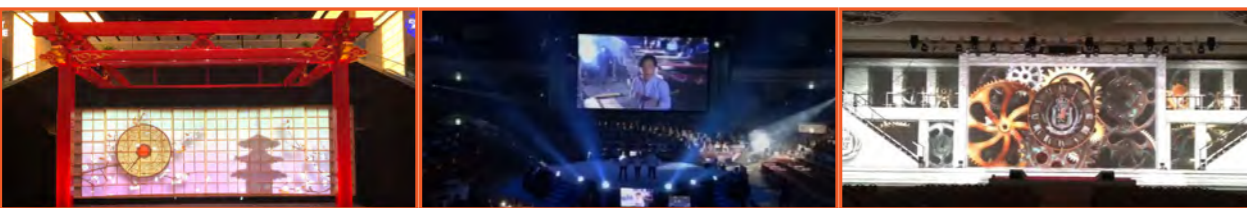


Project 3.

PRODUCER：須田 潤一

- There：My 印象ランキング

adtain をご覧のみなさま、こんにちは! 須田です。毎年、様々な仕事に携わる機会をいただき、毎回成長することができて感謝ばかりです! 今回は、今年担当させていただいた案件の中で、特に印象に残っているものをご紹介します。**第3位** 羽田 × 歴博 Think JAPAN ~日本の魅力を考える~です。これは、3年前から開催されているもので、以前も adtain で紹介しましたが、LED 機材を使用し映像演出で日本の魅力を紹介していく展示となっています。初年度は、LED 屏風。昨年は日本情景時計と名付けられた、障子に季節を感じさせる影絵風の映像を流し、時間になると仕掛けが作動して障子開きの中に LED で日本の春夏秋冬の風景が流れるというものでした。今年は第3弾として、日本情景行灯を展示。数棟の形の異なる大きな行灯を作成し、LED で造作して様々な日本情景を映像で流しました。**第2位**は、両国国技館での社員総会です。この両国国技館という場所で演出、進行を担当する機会はなかなか無いので、とても貴重な経験でした。両国国技館の特性を活かすため、四方にスクリーンを吊りこみ、センターステージで社員総会を実施しました。社員様によるプレゼンでも、四方の花道からの登場演出で臨場感溢れるものとなり、大変盛り上がりしました! 最後に**第1位**は、福岡のヒルトンシーフォークで実施した、某企業様のアワードです。こちらは総合演出を担当し、美術造作からステージ、ホワイエ演出、映像や進行演出を含めた全てにおいて統括させていただき、大変ご満足いただいた案件です。主だったところではまず、受賞者の方々の気持ちが高まるエンタランスの演出。そしてステージ造作は、2階からも登場できる特別構造のステージ! もはや、ステージというよりセットに近いです。その強大なステージに全面マッピングを含めた各所の映像演出。ここまでの規模を全面的に任せただけで、またそれをやり切れたことは大きな経験になりました。実際はここでは書ききれないやりとりや問題などもありました。そして今回お伝えした以外にも多くのお仕事をさせていただき、成長のチャンスを得ることができてありがたく思います。また来年も、自分の表現によって喜んでいただけたら、感動してもらえるような仕事ができればと思っています。残すところ僅かですが、何かあればぜひお声を掛けください! よろしくお祈りします!



羽田 × 歴博 Think JAPAN ~日本の魅力を考える~

社員総会 (両国国技館)

企業アワード (福岡・ヒルトンシーフォーク)



「秋元の思いつき祭り旅」

第4プロジェクト 秋元隼人

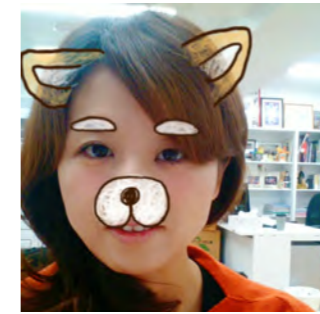
- 皆様ご無沙汰しております。令和になって初めての冬ですね。いかがお過ごしでしょうか?
- 健康のことを考えはじめた今日のごころ...「秋元の思いつき祭り旅」第5回目の今日のお題は...!?
- 体に良さそうなお昼ご飯が食べたいなと思いついた。後輩の、太田君と一緒に千駄ヶ谷付近を散歩していると、居酒屋さんを発見!! 居酒屋 台案でランチ! メニューを見て...
- 「とんかつ定食」、「コロッケ定食」、「カレー」違うな... その時でした! ヘルシーな定食を発見。その名も...「とろろと焼き魚定食」名前の響きが良い!
- 探し求めていたのは、君(とろろと焼き魚定食)だ!!!!!!
- 焼き魚は数種類あり、一切の迷いもなく「鮭、お願いします!!」
- 熊のような体型で、鮭を注文。女将さんの目は完全に「ご飯大盛りでしょ?」と言わんばかりの雰囲気でしたが、ここは激しく我慢。バランスの良いご飯なのに台無しじゃないか! と心に言い聞かせ、ぐっと堪える。美味しい定食を堪能。心も体も満たされて、大変満足でした。
- さあ、太田君! 食後のデザート「甘い焼餅」でも買って帰ろうか! おしまい



Project 2.

PRODUCER：宮崎 詩子

- Event：『ALIVESTAGE』Episode2 『月花神楽~青と緑の物語~』
- Date：2019年11月8日~11月17日
- Place：ヒューリックホール東京



去る11月8日に東京・ヒューリックホール東京で開幕しました。本作は、架空の芸能プロダクション・ツキノ芸能プロダクションに所属するユニット・SOARA と Growth をフィーチャーした「2.5 次元ダンスライブ」『ALIVESTAGE』(通称イブステ)の3部作の第2弾。1幕が芝居、2幕ではライブと2部構成になっており、SOARA(青藍)をメインにした「青の物語」と、Growth(浅葱)をメインにした「緑の物語」と更に2種類の公演に別れている、本当に盛り沢山の内容となっています。SOARA と Growth はアイドルユニットでありながら、今回の「月花神楽」の作品では、別の世界観に存在する、いわゆる「公式の2次創作」での物語。武ではなく、美で競い合う12の国々で巻き起こる物語の世界観で生きる彼等とアイドルの彼等、両方を存分に楽しんで頂ければと思います。そして、今回出演者の一人、adproject 所属の堀田竜成(ほりた りゅうせい)です。今後ともお見知り置き頂きますと嬉しく思います。手前みそですが歌、ダンス、芝居、業界は浅いですが器用です。声優、映像のお仕事等、何かあればぜひお声がけください。



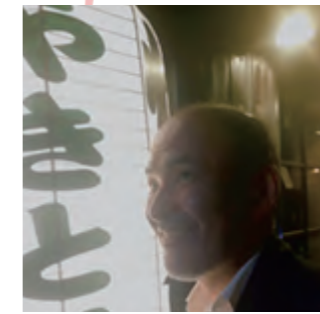
©ivesta02



Project 4.

PRODUCER：岩下 信而

- There：新作映画完成披露試写会
- Date：2019年11月
- Place：港区



前回々々回と触れた、カタカナ名の超人気俳優の謎解き編の一席。去る10月31日、品川プリンス Club ex にて開催された、松下奈緒さん、そしてディーン・フジオカさん主演(これがコエだぜ)、漫画家北条司総監督による映画「エンジェルサイン」の完成披露試写会を担当しました。「エンジェルサイン」は、サイレントマンガを原作とした、台詞の存在しない映像と音楽のみのサイレント・オムニバス映画。サイレントマンガについては、別な機会にたっぷりご紹介させていただきます。当日のプログラムは、5.1Ch サラウンドによる試写会、メロディアスな主題歌を、この日のために書き下ろされたアレンジによる10人編成の生演奏、そして、主演二人の豪華なトークショー。そのためマスコミ各社と一般応募のお客で会場は満席。大盛況のうち終了しました。沢山仕事をしてきたけれど、試写会とコンサートとトークショーを同時にこなしたのは初めて。貴重な経験をさせていただいた。(きゃっ、また腕が上がったかも) それにしてもディーンさんの役作りの姿勢は天晴。ステージに上がる直前までに松下さんやスタッフ、そして自分自身のモチベーションを最高潮にもっていく雰囲気づくりには、ステージ袖で見ていて脱帽です。勢いのある人との仕事は得るものが多いですね。映画つながらで、おすすめの新作「イエスタディ」。僅か12秒の世界規模の大停電により、ビートルズが世の中に存在しなくなる、彼らの曲を歌えるのは、芽が出ないシンガーソングライターのみというシチュエーション。ビートルズだけでなく、有名人や施設、弊社の後吉社長の大好きな世界的な飲料なども存在しなくなる、因みに、ストーンズやペプシは存在する(笑)、さて主人公は、ビートルズの名曲を歌い、高い評価を受け(当たり前じゃ)遂にはメジャーデビューを果たす、しかし、彼はある決断をするのであった...音楽マニアでなくても楽しめるSFコメディ。それもそのはず、脚本はSFコメディの大傑作で以前この稿でも取り上げた「アバウト・タイム」の監督リチャード・カーティス。その他みんな大好きな「ラブ・アクチュアリー」もこの人。本日ご紹介した作品は、是非ご覧ください! 新作と名作をバランスよく楽しむのもエンタメの極意です、では次号、C i a o!



昨日まで、世界中の誰も知らなかったビートルズ。今日、僕以外の誰も知らない... YESTERDAY イエスタディ